**「生涯学習」に関する調査結果**

**１　調査概要**

大阪市では、生涯学習社会の実現に向け、人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に学習活動ができるよう、学校の学習だけでなく、一人ひとりが人生のあらゆる段階や場面において、家庭や地域社会などさまざまな場で自分にあった学習活動が行えることをめざしています。

本調査は、市民の皆様の「生涯学習」に関する関心度等についてお聞きし、今後の生涯学習施策の参考とさせていただくために実施しました。

**２　調査対象**

大阪市内に居住している18歳以上の市民

**３　回答者数**

　　　各年代（18～29歳、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上）ごとに100人の回答を得るまで調査を行いました。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　年代 性別 | 18～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～64歳 | 65～69歳 | 70歳以上 | 　計 |
| 男性 | 50 | 50 | 50 | 50 | 25 | 25 | 50 | 300 |
| 女性 | 50 | 50 | 50 | 50 | 25 | 25 | 50 | 300 |

※　第４次生涯学習大阪計画（計画期間：令和４年度～７年度）において、本調査における「現

在、またはこの１年間のうちに、一定期間継続した生涯学習活動を行ったことがある65歳

以上の市民の割合」を成果指標としていることから、60歳代については、60～64歳、65～

69歳を各50名ずつとしました。

**４　調査期間**

　　　令和７年２月１３日～１４日

**５　調査手法**

　　　インターネットを利用したウェブアンケート調査

**６　調査実施機関**

株式会社マーケティング・コミュニケーションズ

**７　結果概要**

※　質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。

※　数値（％）は、各実数を元に比率表示し、小数第2位を四捨五入しています。したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがあります。また、複数回答の質問については、回答者数を母数に比率表示しています。

※　本アンケートの回答者は民間調査会社に登録するインターネットモニターであり、回答

者の構成は無作為抽出サンプルのように「市民全体の縮図」ではありません。

そのため、調査結果は、「市民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの

回答者の回答状況にとどまります。

**生涯学習について**

「生涯学習」とは、人々が、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校での学習だけでなく、一人ひとりが人生のあらゆる段階や場面において、家庭や地域社会などさまざまな場で自分にあった学習活動を行うことを指します。

教養を高めるための学習から、文化・芸術活動、スポーツ、趣味、ボランティア活動など幅広い分野において、人々が「自発的に行う」学習活動であり、個人学習や自主サークルの活動などを含む、幅広い学習活動を指す考え方です。

また、大阪市では、学んだことを活かして他の人に知識や技術を伝えるなど、成果を社会に広げていくための活動も「生涯学習」に含むと考えています。

**質問項目**

・Q１ あなたは、現在、またはこの１年間のうちに、一定期間継続した生涯学習活動（スポーツ活

動を含む。）をしたことがありますか。ある場合、どのような場所や形態でその生涯学習活動

（スポーツ活動を含む。）を行いましたか。　　　　　　　　　　　　　　　　　　…　P.3

・Q２ あなたが、現在、またはこの１年間のうちに行った生涯学習活動（スポーツ活動を含む。）の

内容はどのようなものですか。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　…　P.6

・Q３ あなたは学習した成果をどのように活用していますか。　　　　　　　　　　　　…　P.9

・Q４ 生涯学習活動（スポーツ活動を含む。）をしていない理由はどのようなものですか。…　P.12

・Q５ あなたが、生涯学習活動（スポーツ活動を含む。）をするための情報を得る方法はどのような

ものですか。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　…　P.15

**Q１ あなたは、現在、またはこの１年間のうちに、一定期間継続した生涯学習活動（スポーツ活**

**動を含む。）をしたことがありますか。**

**ある場合、どのような場所や形態でその生涯学習活動（スポーツ活動を含む。）を行いましたか。次の中からあてはまるものをすべて選択してください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択項目 |  回答者全体 (600名) |
| 1　自宅等で行うインターネットなどを活用した学習（オンライン講座、動画視聴等） | 61(10.2%) |
| 2　自宅等で行う書籍、テレビ、ラジオなどを活用した個人での学習 | 53(8.8%) |
| 3　同好者が自主的に行うグループ・サークル活動 | 26(4.3%) |
| 4　民間のカルチャーセンター、スポーツクラブ等での講座や教室、通信教育 | 24(4.0%) |
| 5　大学、短期大学、専門学校、その他の学校での講座や教室 | 20(3.3%) |
| 6　学習センター、区民センター、老人福祉センターなどの公共施設で行う講座や　教室 | 18(3.0%) |
| 7　生涯学習ルーム（小学校の特別教室等を活用した地域の学習活動や交流活動の場）で行う講座や教室 | 18(3.0%) |
| 8　地域団体やＮＰＯなどが行う講座や教室 | 10(1.7%) |
| 9　職場内研修、会社が指定する外部研修等 | 17(2.8%) |
| 10　地域、学校、職場等において行う地域活動、ボランティア活動 | 18(3.0%) |
| 11　その他 | 0(0.0%) |
| 12　したことがない | 450(75.0%) |

（複数回答可）

➤**Q１令和６年度の傾向**

**■**「12.したことがない」と答えた人は75.0%となり、どの年代においても高い割合となっています。なかでも、65～69歳は82.0％と最も高い割合となっています。

■生涯学習活動（スポーツ活動を含む。）をしたことがあると答えた人の割合は25.0％であり、令和5年度より1.7％減少しました。また、生涯学習活動（スポーツ活動を含む。）をしたことがあると答えた65歳以上の割合は28.7％1となっています。

生涯学習活動をしたことがある人の中では、「1. 自宅等で行うインターネットなどを活用した学習（オンライン講座、動画視聴等）」「2. 自宅等で行う書籍、テレビ、ラジオなどを活用した個人での学習」の割合が高くなっています。これらの割合は18～29歳、30～39歳で最も高く、40歳以上の年代では少なくなっています。

1（41＋66）/（50＋100）＝0.2866　28.7％

（Q1）年代別



（Q1）男女年代別



**Q2**　**あなたが、現在、またはこの１年間のうちに行った生涯学習活動（スポーツ活動を含む。）の**

**内容はどのようなものですか。次の中からあてはまるものをすべて選択してください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択項目 |  回答者全体 (150名) |
| 1 趣味、けいこ事（音楽、美術、華道、工芸、園芸、書道、舞踊など） | 53(35.3%) |
| 2　健康づくり、スポーツ、レクリエーション | 57(38.0%) |
| 3　一般教養（歴史、科学、文学、語学など） | 36(24.0%) |
| 4　社会問題、市民生活に関すること（環境、防災、人権問題、高齢社会、国際交流、ボランティア活動、地域活動など） | 21(14.0%) |
| 5　大阪や地域に関すること（歴史、文化、自然、産業など） | 20(13.3%) |
| 6　職業上の知識・技術・技能の習得、資格の取得に関すること（医療・介護事務、簿記、社労士、宅建など） | 25(16.7%) |
| 7　パソコンやインターネットに関すること（(Word・Excel活用、HP作成など) | 34(22.7%) |
| 8　家庭生活、日常生活に関すること（料理、消費生活、介護、病気予防など） | 28(18.7%) |
| 9　子育て、教育、青少年の健全育成に関すること（育児、非行・いじめ防止など） | 9(6.0%) |
| 10　学校（高等・専門・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習 | 10(6.7%) |
| 11　その他 | 0(0.0%) |

（複数回答可）

➤**Q2令和6年度の傾向**

**■**全体では、「2. 健康づくり、スポーツ、レクリエーション」と答えた人の割合が最も高くなっており、65歳以上では半数近い割合2となっています。

次いで、「１.趣味、けいこ事（音楽、美術、華道、工芸、園芸、書道、舞踊など）」の割合が高く、こちらは60～64歳で54.5％と半数を超える割合となっています。

**■**年代別に見ると、30代以下の年代では「7.パソコンやインターネットに関すること（(Word・Excel活用、HP作成など)」がそれ以外の年代と比較して割合が高くなっています。

2（1+20）/（9+34）＝21/43≒0.488 48.8％

（Q2）年代別



（Q2）男女年代別



**Q3**　**あなたは学習した成果をどのように活用していますか。次の中からあてはまるものを３つま**

**で選択してください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択項目 |  回答者全体 (150名) |
| 1　家庭生活や日常生活で活用する | 61(40.7%) |
| 2　ボランティア活動や地域活動で活用する | 25(16.7%) |
| 3　仕事や就職に役立てる | 45(30.0%) |
| 4　資格を取得する | 27(18.0%) |
| 5　他の人に学習・スポーツ・文化活動等への指導を行う | 14(9.3%) |
| 6　健康の維持・増進に役立てる | 51(34.0%) |
| 7　自身の人生を豊かにする  | 52(34.7%) |
| 8　その他 | 0(0.0%) |
| 9　活用したいと思っているが、どのように活用していいかわからない | 4(2.7%) |
| 10 特に活用していないし、活用したいとは思わない  | 5(3.3%) |

（３つまで回答可）

➤**Q3令和6年度の傾向**

**■**全体では、「1．家庭生活や日常生活で活用する」と答えた人の割合が40.7%と最も高く、次いで「7.自身の人生を豊かにする」と答えた人の割合が34.7％、「6．健康の維持・増進に役立てる」と答えた人の割合が34.0％となっています。

**■**「2.ボランティア活動や地域活動で活用する」と答えた人の割合は16.7％となっています。

**■**年代別で見ると、65歳以上の年代で「7.自身の人生を豊かにする」の割合が高くなっています。また男女年代別で見ると、男性の65～69歳の「6.健康の維持・増進に役立てる」が100％となり、かなり高くなっています。

（Q3）年代別



（Q3）男女年代別

**Q4**　**学習活動をしていない理由はどのようなものですか。次の中からあてはまるものを３つまで**

**選択してください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択項目 |  回答者全体 (450名) |
| 1　仕事が忙しくて時間がない | 74(16.4%) |
| 2　家事・育児・介護が忙しくて時間がない（子どもや親などの世話をしてくれる人がいない） | 31(6.9%) |
| 3　家族や職場など周囲の理解が得られない | 5(1.1%) |
| 4　費用がかさむ | 87(19.3%) |
| 5　身近に施設や場所がない | 28(6.2%) |
| 6　自分の希望する内容の講座等が開催されていない  | 33(7.3%) |
| 7　時間帯が希望に合わない | 25(5.6%) |
| 8　必要な情報（内容、時間、場所、費用など）が入手できない | 17(3.8%) |
| 9　相談するところ（人）がわからない | 4(0.9%) |
| 10　一緒に学習や活動する仲間がいない  | 14(3.1%) |
| 11　きっかけがつかめない | 64(14.2%) |
| 12　感染症の流行等の影響により学習活動を自粛している | 6(1.3%) |
| 13　その他 | 4(0.9%) |
| 14　したいとは思わない | 97(21.6%) |
| 15　特に理由がない | 156(34.7%) |

（３つまで回答可）

➤**Q4令和6年度の傾向**

**■**全体では、「15．特に理由がない」と答えた人の割合が34.7%と最も多く、次いで「14．したいとは思わない」と答えた人の割合が21.6％、「4.費用がかさむ」と答えた人の割合が19.3％となっています。また、「13.その他」と答えた方は身体的な理由や年齢を理由にあげています。

**■**年代別で見ると、すべての年代で「15．特に理由がない」と答えた人の割合が多くなっていますが、60～64歳では「1．仕事が忙しくて時間がない」、65歳～69歳では「11.きっかけがつかめない」の割合も高くなっています。

また男女年代別で見ると、「2.家事・育児・介護が忙しくて時間がない（子どもや親などの世話をしてくれる人がいない）」と答えた女性の割合が11.6％となっており、男性の2.2％と比べて高くなっています。

（Q4）年代別



（Q4）男女年代別



**Q5**　**あなたが、生涯学習活動（スポーツ活動を含む。）をするための情報を得る方法はどのようなものですか。次の中からあてはまるものを３つまで選択してください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 選択項目 |  回答者全体 (600名) |
| 1　各区の広報紙 | 125(20.8%) |
| 2　生涯学習情報誌「いちょう並木」 | 15(2.5%) |
| 3　生涯学習情報提供システム「いちょうネット」 | 13(2.2%) |
| 4　インターネット（３を除く）・SNS | 119(19.8%) |
| 5　市役所、区役所の窓口 | 51(8.5%) |
| 6　学習センターなど生涯学習関連施設の窓口 | 22(3.7%) |
| 7　ポスター、チラシ  | 44(7.3%) |
| 8　新聞 | 34(5.7%) |
| 9　テレビ、ラジオ | 57(9.5%) |
| 10　雑誌、ミニコミ誌 | 19(3.2%) |
| 11　知人、友人、家族 | 84(14.0%) |
| 12　その他 | 0(0.0%) |
| 13　生涯学習活動をするための情報を得ようとは思わない | 304(50.7%) |

（３つまで回答可）

➤**Q5令和6年度の傾向**

**■**全体では、「13．生涯学習活動をするための情報を得ようとは思わない」と答えた人の割合が50.7%と最も高く、次いで「1．各区の広報紙」、と答えた人の割合が20.8％、「4．インターネット（3を除く）・SNS」と答えた人の割合が19.8％となっています。

**■**年代別に見ると、「1．各区の広報紙」と答えた人は、年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向があり、65歳以上では40％以上3となっています。

3（16＋44）/（50＋100）＝0.4　40.0％

（Q5）年代別



（Q5）男女年代別

